

1. 骨端線は, 骨端軟骨の骨化した痕跡である

○

2. 骨髄は造血臓器として, 海綿質にある

○

3. 皮質骨には骨梁がある

×: 骨梁があるのは海綿質部分

4. 発育期の骨髄は赤色骨髄である

○

5. 長管骨の骨幹は海綿質で形成される

×: 海綿質と緻密質で形成される. 緻密質の割合のほうが大きい

6. 骨髄は赤色骨髄と黄色骨髄とに区別される

○

7. 関節面は骨端軟骨で覆われている

×: 関節面は関節軟骨. 骨端軟骨は成長線

8. 骨膜は骨の長軸方向の成長に関わる

×: 骨の横軸方向の成長に関わる

9. 骨は緻密骨と海綿骨とに分けられる

○

10. 膝蓋骨は短骨である

×: 種子骨である

11. 腸骨は扁平骨である

○

12. 肩甲骨は短骨である

×: 扁平骨である

13. 骨の関節面は骨膜で覆われている

×: 関節軟骨に覆われている. 骨膜は関節面以外を覆う

14. 踵骨には海綿骨の部分が少ない

×: 踵骨は短骨に分類される. 短骨には長管骨でいうところの骨端部しかないと考えれば良い. 骨端部に多いのは海綿質である.

15. 骨膜は骨の表面と関節面とを覆っている

×: 骨膜は関節面は覆わない

16. 発育期の骨髄は造血機能を持つ

○: 発育期は赤色骨髄である

17. 軟骨質は, 関節面と成長線とに見られる

○: 関節軟骨と骨端軟骨

18. 骨質は, 緻密質と海綿質とに区別される

○

19. 骨膜には多数の血管と神経が分布している

○: 神経と血管はほとんどセット

20. 骨芽細胞は骨吸収に関与している

×: 骨吸収に関与するのは破骨細胞. 骨芽細胞は骨新生

21. 骨膜は感覚神経に富む

○: 骨膜には神経と血管がセットで存在する

22. 長骨の骨幹には髄腔がある

○

23. 手根骨は短骨と扁平骨からなる

×: 豆状骨は種子骨で, 残りは全て短骨

24. 成人の骨は体重の15~18%を占めている

○

25. 関節面は骨端軟骨で覆われている

×: 関節面は関節軟骨

26. 中足骨は長管骨である

○: 小さい骨だが, あくまでも形態に注目しよう

27. 骨幹部には緻密骨が多い

○: ちなみに骨端部には海綿骨が多い

28. 骨幹内部には髄腔がある

○

29. 皮質骨にはハバース管がある

○

30. 長骨では, 骨膜は関節面を覆う

×: 関節面は関節軟骨

31. 長管骨は骨幹と骨端とからなる

○

32. 骨端成長板では長軸よりも短軸方向に成長する

×: 短軸方向に成長するのは骨膜である

33. 長管骨の骨幹では海綿骨の占める割合が大きい

×: 緻密骨の占める割合が大きい

34. 骨端の関節面は線維軟骨である

×: 硝子軟骨である

35. 骨端軟骨は関節軟骨である

×: 骨端軟骨は成長線のこと. 関節軟骨は関節面を覆う軟骨のこと. 全くの別物である. ちなみに両者とも硝子軟骨に分類される

36. 骨髄にはハバース管が走っている

×: ハバース管は緻密質にのみ走っている. 骨髄は海綿質にある

37. 軟骨組織は圧迫に対して柔軟性がある

○

38. 骨膜には神経が存在する

○: セットで血液も

39. 幼児期の骨髄は黄色骨髄である

×: 乳幼児は赤色骨髄

40. 骨端軟骨は硝子軟骨である

○

41. 長骨では海綿骨は骨梁を形成している

○

42. 骨膜は骨の全表面を覆っている

×: 骨の関節面以外の全てを覆っている